

甲佐町

まちづくりプラン

令和3年度 甲佐町決算説明書

はじめに

『甲佐町まちづくりプラン（決算版）』

町民の皆さまには、日ごろから町行政に対して温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、一昨年に続き新型コロナウイルス感染症の猛威によってあゆまつりが中止となるほか、スポーツ、文化、教育など広い分野において活動の中止や縮小を余儀なくされ、町民の皆さまにおかれては、長く続くコロナ禍への不安を感じながら過ごされたことと思います。

本町においては、町内医療機関のご協力のもと、昨年の5月からワクチン接種を開始し、本年7月からは、4回目の接種を開始したところです。また、現在、国が推し進めている新たな変異ウイルス対応のワクチン接種に向けた準備を行っており、町民の皆さまには、適時、情報を提供することとしております。

また、昨年度は、小中学校において、1人1台のタブレットの活用がスタートし、AI（人口知能）を導入した教材学習を行うなど新たな教育が開始されました。

本年度は、6月に、コロナ禍の影響で2年間休業に追い込まれたやな場の通年営業を開始するほか、7月には、3年ぶりにあゆまつりが開催され、これらのことは、コロナ禍を乗り越えるための確かな一歩であると感じているところです。

今後も、国・県の事業を活用しながら、町民の皆さまに寄り添った支援を行い、町民の皆さまと行政が一体となり、コロナ禍の苦境を乗り越え、持続可能なまちづくりの実現に向け取り組んでまいります。

さて、このような中、令和3年度甲佐町決算が9月議会で認定されました。本紙では、令和3年度に行いました主な事業についてお知らせします。

まずは、感染症関連事業としまして、コロナ禍における家計への支援を行うため、住民税非課税世帯や0歳から高校3年生までの子どもを養育する世帯に対して、それぞれ10万円を給付しました。

また、町独自の事業としましては、国の地方創生臨時交付金を活用し、生活支援および消費経済の活性化を目的とし、町内の事業所や店舗で利用できるプレミアム付商品券を発行しました。

つぎに、熊本地震からの復興事業としましては、「熊本甲佐総合運動公園」について、令和3年度は、野球場、ソフトボール場、管理棟を整備しました。来年春に外構の整備が終わると、すべての施設が完成することとなり、本町のさらなるにぎわいが期待されることです。

さらに、一級河川緑川を抱える本町の課題の一つである内水被害の軽減及び防止を目的に、下横田地区に排水ポンプ場の整備を行いました。

以下に、決算の内容や主な事業を説明しています。

皆さまに納めていただいた税金でどのような事業を行ったのかをお知らせすることにより、町民の皆さまが町政により一層の関心を持っていただき、本町のまちづくりに理解を深めていただけることを願っております。

最後に、町民の皆さまには、引き続き町政へのご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



令和4年10月

甲佐町長 奥名克美

甲佐町一般会計及び特別会計の決算収支状況

単位：千円

	一般会計	国保特会	介護特会	後期特会	甲佐町会計合計
歳入総額①	9,630,487	1,591,032	1,614,095	161,736	12,997,350
歳出総額②	8,900,239	1,521,654	1,557,595	160,781	12,140,269
形式収支③(①-②)	730,248	69,378	56,500	955	857,081
翌年度への繰越額④	14,413	0	0	0	14,413
実質収支(③-④)	715,835	69,378	56,500	955	842,668

甲佐町の昨年度1年間の収支状況は、差し引きで見ると一般会計、特別会計ともに黒字となりました。

一般会計で見ると、歳入総額から歳出総額を単純に差し引いた額（形式収支）が約7億3千万円となっており、事業の繰越などで翌年度に使う経費額を差し引いた実際に残った額（実質収支）が約7億2千万円となりました。

そのうち、5億5千万円を財政調整基金（普通預金）に積立を行い、残りの約1億7千万円は令和4年度の予算に計上し使用することとしています。

- ※ 形式収支・・・入ってきたお金（歳入）から使ったお金（歳出）を単純に差し引いた収支額
- ※ 翌年度への繰越額・・・年度内に事業が完了しなかったため、翌年度へ繰り越す事業に必要な経費
- ※ 実質収支・・・単純差し引き額である形式収支から翌年度への繰越額を引いた、実際の収支額

甲佐町公営企業会計の決算収支状況

◆ 甲佐町水道事業会計

単位：千円

項 目	収益的収入及び支出	資本的収入及び支出
収入総額	166,302	6,720
支出総額	157,995	91,301
差 額	8,307	△84,581

※資本的収入額が支出額に不足する分は、過年度分消費税資本的収支調整額、当年度分消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補っています。

令和3年度甲佐町歳出決算の概要

単位：千円

会計名	決算額		
	令和3年度	令和2年度	比較
一般会計	8,900,239	8,806,029	94,210
国民健康保険特別会計	1,521,654	1,474,082	47,572
介護保険特別会計	1,557,595	1,542,304	15,291
後期高齢者医療特別会計	160,781	157,127	3,654
水道事業会計	157,995	154,748	3,247
甲佐町歳出決算総合計	12,298,264	12,134,290	163,974

甲佐町の歳出決算額は、全体で約123億円となっており、前年度と比較して約1億6千万円増加しています。

主な要因としては、新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルスワクチン接種の実施や、子育て世帯などへの臨時特別支援給付金や住民税非課税世帯などへの臨時特別給付金などの給付事業の実施やふるさと甲佐応援寄附金の増加に伴う返礼品代が増加したことによるものです。

次に、町民の皆さまに直接関係し、政策的経費である一般会計の決算について説明します。

町の収入で一番多いものは、国・県支出金の約29億2千万円で全体の30%を占め、次に、国から交付される地方交付税が約29億円で全体の30%を占め、次に町の借入金である地方債が約11億2千万円で約12%の順となっています。

歳出については、目的別に見てみますと、主なものとしては、子育て世帯等臨時特別支援給付金や住民税非課税世帯等臨時特別給付金の給付事業を含む福祉関係経費の民生費が約23億6千万円で約27%、ふるさと寄附金の基金への積立金や人件費などの総務費が約14億4千万円で約16%、熊本甲佐総合運動公園整備などの教育費が約11億円で12%となっています。

一方、性質別に見てみると、主なものとしては、総合運動公園、道路、住宅整備などの経費である投資的経費が約22億4千万円で25%、子育て世帯等臨時特別支援給付金や住民税非課税世帯等臨時特別給付金の給付金、障がい福祉事業などの経費である扶助費が約15億4千万円で約17%となっています。

☆ 用語の説明

【一般財源】

その用途が特定されていないもの。（地方税、地方譲与税、地方交付税など）

【地方譲与税】

国税として徴収され地方公共団体に譲与される税のこと。（地方揮発油税譲与税、自動車重量譲与税など）

【地方交付税】

国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税、地方法人税のそれぞれ一定割合の額を地方公共団体が等しく事務を行うことができるよう一定の基準により国が交付する税のこと。（普通交付税、特別交付税）

【地方債】

単年度に多額の財源を必要とする災害復旧や、道路や学校などの社会資本の整備のために町が国や民間金融機関などから借り入れ資金調達するお金のこと。

【総務費】

総務管理、文書管理、企画、財産管理、交通安全対策、総合電算、徴税、戸籍住民登録、選挙、統計調査などの経費です。

【民生費】

老人福祉、児童福祉、障がい者福祉などの経費のほか、介護保険などの特別会計への繰出金も含まれます。

【衛生費】

住民健診、環境衛生、ごみ収集、し尿処理などの経費のほか、国民健康保険特別会計への繰出金も含まれます。

【人件費】

職員の給与や手当のほか、首長、議会議員、各種委員などの特別職に支給される報酬なども含まれます。

【扶助費】

児童福祉法、老人福祉法、障害者基本法などの法令に基づいて支出するものや町独自で支出するものも含まれます。

【公債費】

町が以前に発行した地方債の元金の返済や利子の支払などに要する経費です。

【普通建設事業費】

道路や学校など社会資本整備などに要する経費です。

【物件費】

町が支出する消費的性質の経費（賃金、旅費、需用費など）です。

【繰出金】

一般会計から国民健康保険や介護保険などの特別会計に支出される経費です。

【補助費等】

個人や団体への補助金や一部事務組合への負担金などの経費です。

令和3年度一般会計の決算分析

歳入の状況

(単位：千円 %)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較	区 分	令和3年度	令和2年度	比較
地 方 税	1,022,761	1,020,173	2,588	交通安全対策特別交付金	829	987	△ 158
地 方 譲 与 税	70,617	69,674	943	負 担 金 ・ 分 担 金	74,559	69,478	5,081
利 子 割 交 付 金	395	445	△ 50	使 用 料 ・ 手 数 料	56,736	59,691	△ 2,955
配 当 割 交 付 金	1,824	1,934	△ 110	国 庫 支 出 金	2,241,256	2,951,983	△ 710,727
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	3,696	1,920	1,776	県 支 出 金	682,502	682,480	22
地 方 消 費 税 交 付 金	246,699	228,244	18,455	財 産 収 入	29,839	2,401	27,438
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	11,815	9,827	1,988	寄 附 金	522,196	99,513	422,683
環 境 性 能 割 交 付 金	4,651	4,488	163	繰 入 金	342,532	243,381	99,151
地 方 特 例 交 付 金	29,128	12,549	16,579	繰 越 金	218,031	207,077	10,954
法 人 事 業 税 交 付 金	10,645	4,465	6,180	諸 収 入	41,195	70,107	△ 28,912
地 方 交 付 税	2,899,527	2,550,691	348,836	地 方 債	1,119,054	1,032,552	86,502
普通	2,657,666	2,325,546	332,120				
特別	241,861	225,145	16,716				
(一般財源計)	7,201,285	3,904,410	3,296,875	歳 入 合 計	9,630,487	9,324,060	306,427

※地方財政状況調査（決算統計）の区分に準じて作成しています。

歳出の状況

目的別歳出の状況

(単位：千円 %)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較
議 会 費	74,816	76,407	△ 1,591
総 務 費	1,436,160	2,132,220	△ 696,060
民 生 費	2,355,174	2,111,593	243,581
衛 生 費	570,888	449,676	121,212
農 林 水 産 業 費	270,637	253,095	17,542
商 工 費	463,664	174,819	288,845
土 木 費	976,615	997,564	△ 20,949
消 防 費	350,355	320,074	30,281
教 育 費	1,099,173	1,039,245	59,928
災 害 復 旧 費	275,508	292,158	△ 16,650
公 債 費	1,027,249	959,178	68,071
歳 出 合 計	8,900,239	8,806,029	94,210

※地方財政状況調査（決算統計）の区分に準じて作成しています。

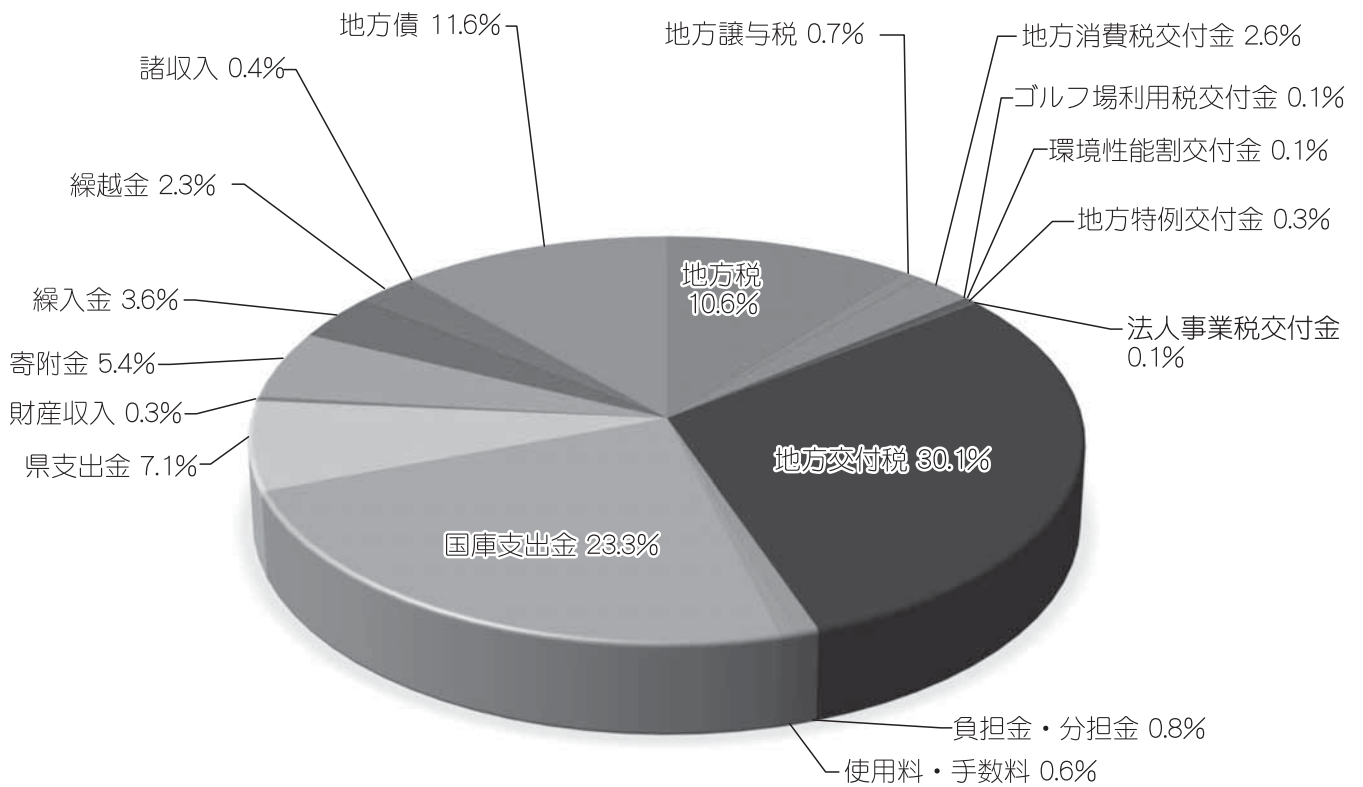
性質別歳出の状況

(単位：千円 %)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較
人 件 費	982,448	928,500	53,948
扶 助 費	1,541,848	1,273,008	268,840
公 債 費	1,027,249	959,178	68,071
(義務的経費小計)	3,551,545	3,160,686	390,859
物 件 費	1,117,844	887,092	230,752
維 持 補 修 費	35,712	40,699	△ 4,987
補 助 費 等	676,011	1,827,562	△ 1,151,551
積 立 金	647,330	198,772	448,558
繰 出 金	628,811	633,126	△ 4,315
投 資 的 経 費	2,242,986	2,058,092	184,894
普通建設事業費	1,967,478	1,765,934	201,544
補助 単独	1,570,802	1,313,932	256,870
災害復旧事業費	396,676	452,002	△ 55,326
災害復旧事業費	275,508	292,158	△ 16,650
歳 出 合 計	8,900,239	8,806,029	94,210

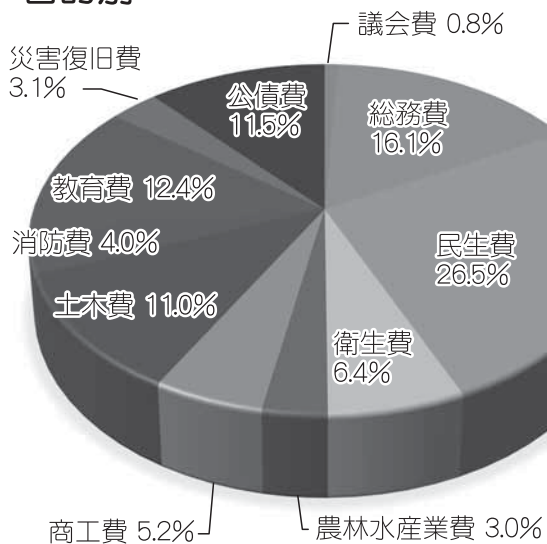
※地方財政状況調査（決算統計）の区分に準じて作成しています。

歳入

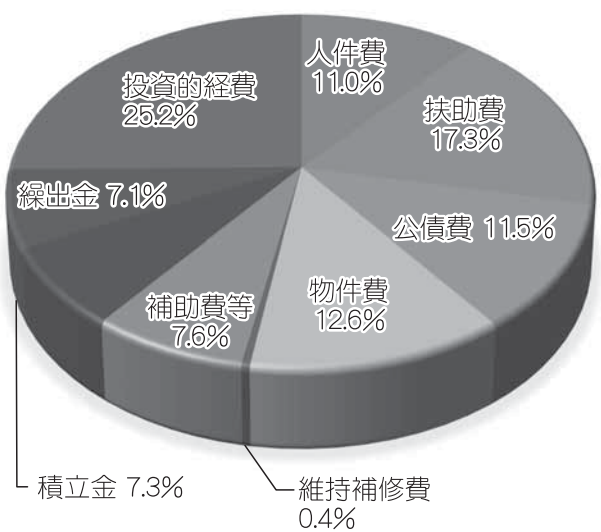


歳出

目的別



性質別



令和3年度に行った主な事業

本町では将来を見据えた町づくりを目指し、令和2年度に策定した甲佐町のまちづくりの基本となる「第7次甲佐町総合計画」に基づきさまざまな事業を行いました。その中で、令和3年度に行った主な事業を以下のとおり説明します。

※平成28年に発生した熊本地震に関連する事業については、事業名の前に【震災関連】と表記しています。

●産業の振興

農林業

農地の保全、優良農地の確保、ため池改修や用排水施設の整備、農業生産基盤の整備、後継者の育成や担い手の確保など多様な振興策を推進します。地域の特性を生かした特産品の生産によって、産地のブランド化を図り、生産から流通まで幅広い農林業の振興を図ります。

◆多面的機能支払事業

59,072千円



【事業説明会を行っている様子】

(担当：農政課)

(農地維持)

農地や水、地域の良好な環境の維持・保全とその質的向上を図ることを目的に、地域で行う草刈り、水路の泥上げなどの地域ぐるみでの効果の高い取組みを行った30組織に対し支援しました。

財源内訳

国県支出金	43,640千円
町の負担額	15,432千円

(施設の長寿命化)

老朽化が進む農地周りの農業用排水路・農道等の長寿命化のための補修・更新などへの取組みを行った25組織に対し支援しました。

◆農業次世代人材投資事業

12,000千円



【新規就農者の就農状況確認の様子】

(担当：農政課)

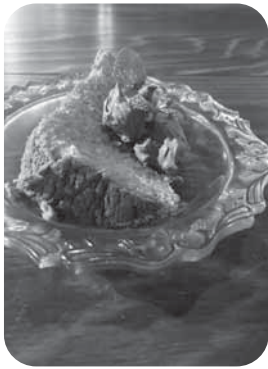
50歳未満の認定新規就農者に対し、就農直後の経営安定を支援するための事業です。令和3年度は、継続7名、新規認定の2名に事業資金を支給しました。

財源内訳

国県支出額	12,000千円
-------	----------

◆山椒加工品試作開発業務委託

1,000千円



【山椒と米粉を使ったシフォンケーキ】

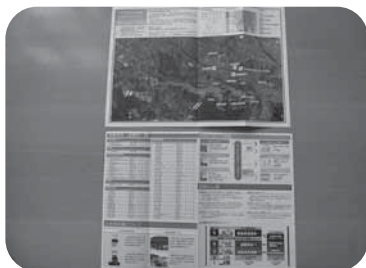
(担当：農政課)

令和元年度から2か年をかけて宮内地区で行った山椒の新植事業と併せ、加工品の開発を一体的に宮内地区で行うことで、本町および宮内地区の新たなブランドとして育成・促進していくことを目的に、山椒を使った加工品やレシピの開発を令和2年度と令和3年度の2年間、非営利活動法人自然樂舎みやうちへ委託しました。

財源内訳	
町の負担額	500千円
その他	500千円

◆防災重点農業用ため池ハザードマップ作成事業

22,770千円



【作成した防災重点農業用ため池ハザードマップ】

(担当：農政課)

自然災害などにより、町内に存在する防災重点ため池が決壊した場合に人命を守るとともに被害の最小化を図るため、ハザードマップを作成しました。

財源内訳	
国県支出金	22,770千円

◆有害鳥獣捕獲事業

(担当：農政課)

1,485千円



【有害鳥獣駆除隊による活動の様子】

有害鳥獣による農作物などへの被害軽減のため、甲佐町有害鳥獣駆除隊を中心に有害鳥獣駆除活動を実施しています。令和3年度はイノシシ141頭、シカ40頭、カラス13羽の駆除を実施しました。

財源内訳	
国県支出金	1,091千円
町の負担額	394千円

商業・サービス業

個々の店舗の自助努力を促し、魅力ある商店街づくりと空き家バンクを活用した商業の活性化によるにぎわい空間の整備、商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実を図ります。

◆ふるさと甲佐応援寄附金

305,757千円



【令和3年度に新たに導入したauPAYふるさと納税サイト】

(担当：地域振興課)

さまざまな人々の参加による個性豊かな活力あるふるさとづくりを行うため、本町のまちづくりに賛同する人々から寄附金(ふるさと甲佐応援寄附金)をいただき、地域振興および経済の発展を図ると同時に、本町における自主財源の確保を行いました。

令和3年度は、新たなポータルサイトの導入や返礼品の充実により、更なる寄附金額の増加に取り組みしました。

財源内訳
町の負担額 305,757千円

◆プレミアム付商品券発行事業

53,928千円



【プレミアム付商品券の販売風景】

(担当：地域振興課)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、地域経済の消費低迷に対する経済活性化対策としてプレミアム付商品券を発行しました。

財源内訳
国県支出金 53,928千円

◆キャッシュレスポイント還元支援事業

4,388千円



【キャンペーン対象店舗に設置されたポスターやチラシ】

(担当：地域振興課)

地域経済の活性化を図ることを目的に、キャッシュレスポイント付与対象店舗での購買活動において、スマートフォンを利用したQRコード決済(キャッシュレス決済)を利用された方に対し、決済額の一部をポイントとして還元することで、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ町内消費の喚起に取り組みしました。

財源内訳
国県支出金 4,388千円

観光・イベント

観光資源の保全・活用をはじめ、交流拠点施設や熊本甲佐総合運動公園などを活用したイベントなど、既存のイベントや祭りの内容の充実、広域連携による観光ルートの開発、地域や民間団体と連携した観光推進体制の強化などを図り、自然と歴史・文化にふれあえる魅力ある通年型の観光地づくりを推進します。

◆エコバッグによる販売促進事業

5,478千円



【作成したエコバッグ】

(担当：地域振興課)

新型コロナウイルス感染症収束後の購買力向上および本町の魅力PRのため、エコバッグおよびガイドブックを作成しました。エコバッグは町のイベント等の際に町内外の方へ配布を予定し、ガイドブックはイベント等の際の配布や町内施設等への配置を順次行っています。

財源内訳
国県支出金 5,478千円

◆【震災関連】 竜野川環境施設トイレ整備事業



【令和3年度に整備された竜野川環境施設トイレ】

(担当：地域振興課)

熊本地震発生時に竜野川環境施設は避難拠点となりましたが、トイレ不足が課題となったことから、災害発生時の避難拠点のトイレ不足を解消すべく、当該施設へのトイレの整備を行いました。

15,787千円

財源内訳
町の負担額 5,263千円
その他 10,524千円

◆やな場環境整備事業

(担当：地域振興課)

6,702千円



【新型コロナウイルス感染症対策が完了し営業を再開したやな場】

新型コロナウイルス感染症の影響により休業していた「やな場」の営業再開にあたり、「やな場」を訪れる方が安心して利用できるよう廊下部分の抗菌仕様加工や感染防止対策備品並びに換気設備の整備等を行い、令和4年度からの営業再開に向けた新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行いました。

財源内訳
国県支出金 6,701千円
町の負担額 1千円

◆熊本甲佐総合運動公園管理事業

26,948千円



【上空からの熊本甲佐総合運動公園】

(担当：社会教育課)

緑川を軸とした地域の活性化、町民の健康増進、体力向上の場、また各種目の大会やイベントの誘致など、町内外から様々な世代が集う水辺拠点として、地域交流の促進を図ることを目的に総合運動公園の管理を行いました。

財源内訳	
使用料	5,617千円
国県支出金	13,231千円
町の負担額	8,100千円

◆熊本甲佐総合運動公園整備事業

625,101千円



【安津橋一带の緑川河川敷に整備が進む「熊本甲佐総合運動公園」】

(担当：地域振興課)

安津橋上流左岸の緑川河川敷に、交流拠点施設として熊本甲佐総合運動公園「緑川リバーサイドパーク」(サッカー場、テニスコート、野球場、ソフト

ボール場、管理棟、多目的広場、遊歩道)の整備を進めています。平成30年度から複数年にわたり段階的に整備を行っており、令和3年度は管理棟および多目的エリア等外構の整備に着手し、管理棟については令和4年4月に供用開始しました。また、令和2年度から進めていた野球場およびソフトボール場は令和4年6月に供用開始しました。

財源内訳	
国県支出金	320,299千円
町の借入金	304,700千円
町の負担額	102千円

●都市基盤の整備

道路

国道・県道の改良や交通安全施設などの整備を引き続き要請し、広域的な道路ネットワークの構築につなげます。町道については、将来を見据えた計画的な整備を図り、生活道路については、全ての住民が安心して通行できる道路整備を推進します。

◆道路改良事業（担当：建設課）

373,200千円



【町道早川下糸田線の竣工写真】

道路改良事業は、道路整備5か年計画に基づき広域的な道路網を形成する幹線道路や集落内の幅員が狭い生活道路などの改良工事を行うことで、利便性の向上を図り、安全・安心な道路整備を進めています。令和3年度は、早川下糸田線（糸田地内）、迫線（船津地内）、古閑八丁線（古閑地内）、西寒野打越線（西寒野地内）の4路線の改良工事を行いました。

財源内訳	
国県支出金	205,324千円
町の借入金	165,400千円
町の負担額	2,476千円

また、舗装の老朽化対策として、舗装補修計画を策定し、計画的な舗装工事を行っています。令和3年度は北原団地線（北原地内）、上田口下田口線（下田口地内）の舗装の打ち換えを行いました。

◆橋りょう補修事業（担当：建設課）

105,030千円



【町道大町二段橋線・二段橋】

町が管理する橋りょうは5年に1度定期的な点検を実施し、点検結果に基づく長寿命化計画を策定して、橋りょうの「予防保全型の維持管理」を行っています。

財源内訳	
国県支出金	63,279千円
町の借入金	32,500千円
町の負担額	9,251千円

令和3年度は、橋梁点検90橋、打出橋（坂谷地内）・宮園橋（西寒野地内）・片目橋（東寒野地内）などの補修設計及び二段橋（下横田地内）・中井手橋（中横田地内）・住宅橋（上揚地内）の補修工事を行いました。

◆危険ブロック塀等安全確保支援事業

840千円



【危険なブロック塀を撤去し、新たに設置】

(担当：建設課)

避難路に面するブロック塀などが地震などの発生により倒壊することで起こる人身事故の防止や避難経路の確保を目的に、倒壊の危険性が高いブロック塀などの撤去や安全なブロック塀などの設置に要する費用の一部を補助しています。令和3年度は5件に対し補助しました。

財源内訳	
国県支出金	552千円
町の負担額	288千円

◆浸水対策事業 (担当：建設課)

40,565千円



【下横田排水ポンプ場の完成写真】

一級河川緑川が貫流する本町は、豪雨時に緑川の水位が上昇し支流の河川や水路の流下が阻害された場合、溢(あふ)れた水によって道路冠水や住宅浸水などの内水被害が発生しています。

財源内訳	
町の借入金	40,400千円
町の負担額	165千円

このため、町内で発生する内水被害の軽減や防止を図ることを目的に、令和3年度においては、馬門川の浸水対策基本設計と下横田排水ポンプ場の工事を行いました。完成した下横田排水ポンプ場は令和4年度から施設の運用を開始しており、下横田地区の道路冠水や住宅浸水被害の軽減や防止に寄与しています。

●生活環境の整備

住宅・住環境

若者の定住を図るための民間活用による快適な住宅環境づくりや、子育て世代に優しい定住施策を進めます。安全で快適に暮らせる町営住宅を維持するため、「甲佐町公営住宅等長寿命化計画」に基づき計画的な予防保全を図るとともに、子育て世帯の定住促進に寄与する町営住宅の活用を推進します。

◆公営住宅長寿命化計画策定事業

4,290千円



【現在管理している浅井団地】

(担当：建設課)

「公営住宅長寿命化計画」の計画期間満了に伴い、住棟ごとに改善や修繕などの活用手法を定め、長寿命化による更新コストの削減と事業量の平準化等を図るために、令和4年度から令和13年度までの計画を策定しました。

財源内訳	
国県支出金	1,930千円
町の負担額	2,360千円

◆上揚団地建替事業 (担当：建設課)

154,287千円



【令和3年度に完成した上揚団地3棟8戸】

上揚団地の住環境整備を図るため、建替工事を進めました。令和3年度は、建替工事（3棟8戸）、既設住宅解体（3棟12戸）および外構工事を行い、上揚団地の建替事業は完了しました。

財源内訳	
国県支出金	91,131千円
町の借入金	62,300千円
町の負担額	856千円

◆早川第一団地建替事業

138,488千円



【早川第一団地の建築した2棟4戸】

(担当：建設課)

早川第一団地の住環境整備を図るため、建替工事を進めています。令和3年度は、建替工事（2棟4戸）、既設住宅解体（2棟4戸）、外構工事および擁壁工事の一部を整備しました。残りの2棟4戸の建替工事や外構工事を行い、令和4年度に完成します。

財源内訳	
国県支出金	65,976千円
町の借入金	71,800千円
町の負担額	712千円

上水道・生活排水処理

上水道は、健全な経営体制の確立に努めつつ、効率的な水道施設の改築・更新や維持管理を行い、水道水の安全で安定的な供給を図ります。上水道以外の簡易水道施設及び飲料水供給施設は、維持管理に努めるとともに統合整備を進め、清浄な水の安全で安定的な供給を図ります。生活排水対策は、合併処理浄化槽の普及を促進するとともに適正管理を促進し、公共用水域の水質汚濁防止対策を推進します。

◆水道事業特別会計 (担当：環境衛生課)

249,296千円



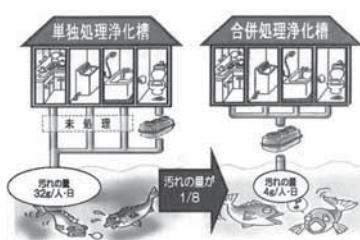
【令和3年度に実施した幸野橋の水道管添架状況】

本会計は、安心・安全な飲料水を安定的に確保・供給するために水道料金で運営する公営企業会計です。令和3年度の主な建設改良工事としては、水道管理センター改修工事および幸野橋架け替えに伴う老朽管の布設替えを行いました。

財源内訳	
使用料	139,759千円
町の借入金	6,000千円
その他	103,537千円

◆浄化槽設置整備事業 (担当：環境衛生課)

32,562千円



【浄化槽のイメージ図】

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置者に対して補助金を交付しました。また、単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽へ転換する場合には補助額の加算も行いました。

財源内訳	
国県支出金	15,977千円
町の負担額	16,585千円

◆し尿処理対策事業 (担当：環境衛生課)

50,642千円



【御船地区衛生施設組合】

各家庭から排出されるし尿処理のため、甲佐町・御船町・益城町・嘉島町の4町で構成する「御船地区衛生施設組合」へ負担金を支出しました。

財源内訳	
町の負担額	50,642千円

環境

ごみの減量化・再資源化を促進するとともに廃棄物処理施設の延命化と広域での施設整備を推進します。

◆ごみ処理事業 (担当：環境衛生課) 10,558千円



【ごみ収集の様子】

各家庭から排出される燃やすぐみの収集運搬を行うため、町内225カ所に集積所を設置し、各地区週2回の収集運搬を行いました。

財源内訳
町の負担額 10,558千円

◆御船町甲佐町衛生施設組合負担金 106,781千円



【御船町甲佐町衛生施設組合】

(担当：環境衛生課)
各家庭から排出されるごみ処理のため、甲佐町と御船町の2町で構成する「御船町甲佐町衛生施設組合」へ負担金を支出しました。

財源内訳
町の負担額 106,781千円

◆リサイクル推進事業 (担当：環境衛生課) 11,299千円



【リサイクルステーションの様子】

各家庭から排出される資源ごみなどを分別収集するために、町内56カ所にリサイクルステーションを設置し、分別を18品目に定め、毎月1回分別指導および収集運搬を行いました。

財源内訳
町の負担額 11,299千円

安心・安全

迅速に対応できる消防、防災体制づくりを進めるとともに、関係機関との連携による地域一体となった交通安全対策と防犯対策を進めます。また、上益城5町連携による消費生活相談室の開設を継続的に実施し、消費生活相談体制の充実を図ります。

◆上益城消防組合負担金 (担当：総務課) 158,148千円



【消防署訓練の様子】

消防・防災など住民の安全・安心な生活を支援するために、甲佐町、御船町、嘉島町および山都町で構成された上益城消防組合に負担金を支払いました。

財源内訳
町の負担額 158,148千円

◆耐震性貯水槽（防火水槽）設置事業

15,845千円



【中横田地区の耐震性貯水槽】

（担当：総務課）

火災発生時に消火活動がスムーズに行われるように、水利のない地域に耐震性貯水槽（防火水槽）を計画的に設置しています。令和3年度は町内2カ所に設置しました。

財源内訳	
国県支出金	5,486千円
町の借入金	10,300千円
町の負担額	59千円

◆消防小型動力ポンプ付積載車購入事業

13,599千円



【浅井地区小型ポンプ付積載車】

（担当：総務課）

消火活動に不可欠な消防車両のうち、老朽化した車両を計画的に更新しています。令和3年度は、小型動力ポンプ付積載車を2台更新しました。

財源内訳	
町の借入金	13,500千円
町の負担額	99千円

◆防犯灯設置事業（担当：くらし安全推進室）

3,104千円



【整備された防犯灯
（西寒野地区）】

幹線道路などで、夜間の通行者に対する犯罪の抑制を図り、車両運転者に対して歩行者の存在を知らせ、交通事故を未然に防ぐことを目的として、防犯灯を整備しました。また、行政区で設置された防犯灯に対しても経費の一部を助成しました。

財源内訳	
国県支出金	1,877千円
町の負担額	1,227千円

◆投光器整備事業（担当：総務課）

5,082千円



【自立式投光器】

新型コロナウイルス感染症対策のための分散避難や、密を避けるため屋外で避難者受付をする際などの感染予防を図るため、自立式の投光器を購入しました。

財源内訳	
国県支出金	5,082千円

◆河川浚渫事業（担当：建設課）

5,628千円



【浚渫後 竜野川】

町が管理する河川において、経年的に河道内に堆積した土砂が河川の流下断面を阻害しており、河川氾濫（はんらん）のリスクを高めています。

このため、河川氾濫を防止することを目的に、令和3年度は、内田川、湯田川、竜野川、目野川の堆積土砂の浚渫（しゅんせつ）※を行いました。



【浚渫前 竜野川】

※浚渫とは川底の土砂を取り除くことです。

財源内訳	
町の借入金	5,600千円
町の負担額	28千円

◆指定避難所防災倉庫整備事業

3,267千円



【乙女小学校に設置した防災倉庫】

（担当：くらし安全推進室）

新型コロナウイルス感染症対策として、避難所用品の分散備蓄のため町内3カ所（甲佐中学校、竜野小学校、乙女小学校）に防災倉庫を設置しました。

財源内訳	
その他	3,267千円

◆消防団活動服（新基準）整備事業

9,413千円



【新基準の活動服】

（担当：総務課）

新型コロナウイルス感染症対策のため分散避難を行う際、夜間に避難誘導することになった場合に視認性を高めるため新基準の消防団活動服を購入しました。

財源内訳	
国県支出金	9,413千円

◆交通指導員による見守り事業

1,224千円



【交通指導員による見守り状況】

(担当：くらし安全推進室)

毎月(1日、10日、20日)と春秋の交通安全運動期間に児童生徒の登校時の見守りを行いました。

財源内訳	
町の負担額	1,224千円

◆消費生活相談事業

(担当：福祉課)

543千円



【ワンクリック詐欺のイメージ】

上益城5町連携で消費生活相談窓口を開設し、専門相談員を配置することで相談体制の充実を図りました。主な支出は人件費および旅費です。

財源内訳	
県支出金	271千円
町の負担額	272千円

熊本地震からの復興

「甲佐町震災復興計画」に基づき、創造的復興に向け取り組んできましたが、今後も継続して取り組む必要がある事業については、計画期間が終了した後も引き続き創造的復興に向けて取組を進めていきます。

◆【震災関連】地籍調査事業

17,949千円



【田口地区での一筆調査の様子】

(担当：税務課)

熊本地震により地殻変動が大きかった区域で、座標補正パラメーターを使用して補正を行っても許容範囲を超過した大字田口の一部の区域について、現地での一筆調査を行いました。

財源内訳	
国県支出金	13,461千円
町の負担額	4,488千円

◆【震災関連】住まいの再建支援事業

5,100千円



【引っ越しイメージ】

(担当：福祉課)

熊本地震により被災し、熊本県内に住まいを再建される世帯を対象に、「すまいの再建」に係る4つの支援事業を行い、被災者の復興支援を図りました。すまいの再建に係る助成については、甲佐町の被災者への支援は完了し、令和3年度をもって事業終了となりました。

財源内訳	
国県支出金	5,100千円

●健康・福祉の向上

地域福祉

全ての住民が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに向けて、総合的な支援を身近な地域で行う地域共生社会の構築に努めます。

◆住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 120,600千円



【給付金申請受付の様子】

(担当：福祉課)

世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯や、令和3年1月以降に新型コロナウイルス感染症の影響により住民税が非課税である世帯と同様の事情にあると認められる世帯等に対して、1世帯あたり10万円を給付しました。

財源内訳
国県支出金 120,600千円

◆社会福祉協議会経常経費補助事業 10,000千円



【甲佐町社会福祉協議会入口】

(担当：福祉課)

甲佐町社会福祉協議会の経常経費の補助を行いました。

財源内訳
町の負担額 10,000千円

◆総合保健福祉センター空調機能等強化対策事業 47,242千円



【屋上室外機の撤去作業】

(担当：健康推進課)

町の指定避難所となっている総合保健福祉センターの感染症対策を目的として、国の地方創生臨時交付金を活用して、空調および換気機能等の強化・整備工事を行いました。

財源内訳
国県支出金 47,242千円

◆福祉避難所用備品等整備事業 4,684千円



【感染対策実施の様子】

(担当：福祉課)

指定福祉避難所施設で新型コロナウイルス感染防止を図るための物資・備品を配備し、災害発生時において感染症の拡大防止を図りました。

財源内訳
国県支出金 4,684 千円

◆乙女高齢者福祉センター蓄電池設置事業(繰越)

7,997千円



【乙女高齢者福祉センター蓄電池写真】

(担当：福祉課)

3密を避けるため避難所を可能な限り確保するなど安全安心な防災体制を強化することと、熊本地震の際に蓄電池を備えた避難所が安全な利用に寄与した経験を活かし、乙女高齢者福祉センターへ蓄電池を設置しました。

財源内訳
国県支出金

7,997千円

高齢者福祉

高齢者がいつまでも健康で住み慣れた地域で安心して暮らし、生きがいをもって生活できるように、介護予防をはじめ超高齢社会に配慮した在宅福祉サービスの充実と生きがい対策の充実など高齢者がいきいきと暮らせる長寿社会を目指します。

◆老人ホーム入所措置費

(担当：福祉課)

94,776千円



【緑川荘外観】

町内・外の養護老人ホーム入所者に係る生活費および施設事務費を負担しました。

財源内訳
町の負担額
その他

78,156千円

16,620千円

◆敬老事業

(担当：福祉課)

2,820千円



【100歳のお祝いの様子】

長年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に対し敬老の日に合わせてお祝い品やお祝い金の贈呈を行いました。内容は100歳到達者14名に対して一人あたり50,000円と内閣総理大臣からの表彰状および銀杯の贈呈、88歳到達者106名に対して

財源内訳
町の負担額
その他

2,290千円

530千円

一人あたり20,000円の祝い金を贈呈しました。(88歳到達者へのお祝い金については、社会福祉協議会からの一人あたり5,000円のお祝い金を含む)

◆高齢者保健・介護予防一体化事業

4,223千円



【健康教育の様子】

(担当：健康推進課)

健康寿命の延伸と高齢者の生活の質の向上を目指して、病気の発症予防・重症化予防のための保健事業と生活機能の維持のための介護予防事業（健康教育・講話）を延べ48人に実施しました。

財源内訳	
町の負担額	227千円
その他	3,996千円

次世代育成

子育て家庭への支援を通して、健やかに生まれ育つことができる総合的で利用しやすい子育てサービスを充実します。

◆児童手当 (担当：住民生活課)

163,750千円



【児童手当申請受付の様子】

子育て世代に対して少子化対策の一環として、中学3年生までの子どもを対象に児童手当の給付を行い、子育てに対する金銭的な不安の解消を図るなど、子育て支援を行いました。

財源内訳	
国県支出金	113,238千円
町の負担額	50,512千円

◆保育の実施 (担当：住民生活課)

491,321千円



【保育事業のイメージ】

保育事業は、保護者が就労や疾病等により、家庭で保育することができないと認められる場合に、保育所や認定こども園等において、就学前の子どもに対し実施しています。また、教育事業は、幼稚園や認定こども園において、満3歳以上の就学前

財源内訳	
保育料	21,071千円
国県支出金	367,241千円
町の借入金	15,000千円
町の負担額	88,009千円

の子どもに対し実施しています。令和3年度は、保育園、幼稚園および認定こども園に対し、必要な費用を支払いました。

◆放課後児童健全育成事業

10,440千円



【放課後児童健全育成事業のイメージ】

(担当：住民生活課)

昼間に保護者が家庭にいない小学校就学児童に、授業終了後、適切な遊びや生活の場を与え、健全育成を図る事業です。令和3年度は、甲佐小学校地内の専用施設を利用した「くるみクラブ」、白旗福祉ふれあいセンターを利用した「げんき

クラブ」、竜野地区では民家を利用した「ひまわりクラブ」で事業を行いました。

財源内訳	
国県支出金	6,960千円
町の負担額	3,480千円

◆子ども医療費助成事業 (担当：住民生活課)

39,865千円



【子ども医療費申請受付の様子】

子どもの健康の保持、健全な育成および子育て支援のため、中学3年生までの子どもの医療費の助成を行いました。また、県内保険医療機関の窓口無料化を実施しました。

財源内訳	
国県支出金	3,106千円
町の借入金	22,900千円
町の負担額	13,859千円

◆一般不妊治療費助成事業

100千円



【夫婦のイラスト】

(担当：健康推進課)

妊娠を希望する夫婦の経済的負担を軽減することを目的として、一般不妊治療に要する費用の一部を助成しました。令和3年度は2件助成を行いました。

財源内訳	
国県支出金	78千円
町の負担額	22千円

◆子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

157,390千円



【子育て世帯への臨時特別給付金申請受付の様子】

(担当：住民生活課)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取組みのひとつとして、0歳から高校3年生に対し、臨時特別の給付金（一時金）を給付しました。

財源内訳	
国県支出金	157,390千円

障がい者福祉

障がいのある人もない人も、互いに支え合い、地域でいきいきと明るく豊かに暮らすことのできる社会を目指し、障がいのある人の自立と社会参加の促進を図ります。

◆介護給付・訓練等給付費給付事業

369,279千円



【介護給付・訓練等給付費申請受付の様子】

(担当：福祉課)

障がいのある方が必要とするサービスの利用に対し、費用の給付を行いました。主な内容は、施設入所、居宅介護、短期入所、生活介護、グループホーム、就労継続支援などがあります。

財源内訳	
国県支出金	283,560千円
町の負担額	85,719千円

健康づくり

「自分の健康は自分で守る」ことを基本とし、地域・行政・医療機関などが連携・協力しながら、住み慣れた地域でいつまでも健康でいきいきと暮らせる健康社会を目指すとともに健康づくりが気軽に実践できる環境づくりを総合的に進めます。

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業

105,039千円



【新型コロナウイルスワクチン接種の様子】

(担当：健康推進課)

新型コロナウイルス感染症のまん延防止および感染者の重症化を防ぐため、令和3年4月1日からワクチン接種専用の電話(コールセンター)での接種予約申込受付を開始し、令和3年5月から、町総合保健福祉センターでの集団接種、また、令和

財源内訳	
国県支出金	104,937千円
町の負担額	102千円

3年8月から町内医療機関での個別接種を開始しました。

(18歳以上接種者数; 1回目8,229人。2回目8,185人。3回目6,522人。12歳以上17歳以下接種者数: 1回目441人。2回目430人。)

◆予防接種事業 (担当：健康推進課)

19,065千円



【予防接種の様子】

乳幼児・児童に対し、予防接種を実施し、感染症の予防とまん延を防ぎます。また、65歳以上の高齢者を対象に、インフルエンザや成人用肺炎球菌(対象年齢者に)の予防接種を実施し、重症化を防ぎます。

財源内訳	
町の負担額	19,065千円

◆風しんの追加的対策事業

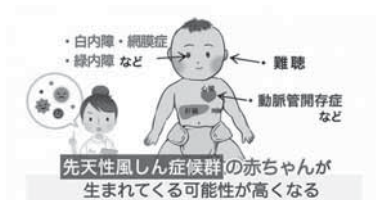
810千円



(担当：健康推進課)

風しんの感染とまん延を予防するため、風しん抗体を持たない昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性を対象に、令和7年3月31日までの時限措置として、風しん抗体検査および予防接種を実施しました。

財源内訳	
国県支出金	352千円
町の負担額	458千円



【風しんの追加的対策普及啓発資料】

◆妊婦健康診査事業 (担当：健康推進課)

4,608千円



【母子手帳と妊婦】

妊婦の健康を保持・増進し、安心・安全に妊娠・出産ができるよう、妊婦健康診査の費用を負担しました。令和3年度は母子健康手帳を53人に交付しました。

財源内訳	
国県支出金	147千円
町の負担額	4,461千円

◆乳幼児健診事業 (担当：健康推進課)

940千円



【乳幼児健診の様子】

4カ月・7カ月児健康診査、1歳6カ月・3歳児健康診査を実施することにより、心身の発達の確認や、保健・栄養指導、育児相談などを行い、疾病の早期発見や子育て支援につなげました。(延べ受診者数240人)

財源内訳	
国県支出金	202千円
町の負担額	738千円

社会保障

住民が健康で安心して暮らすことができるよう、各種社会保障制度の適切な運営を目指します。また、熊本県後期高齢者医療広域連合と連携し、後期高齢者医療制度の円滑な運営を図ります。

◆国民健康保険特別会計（担当：住民生活課）

1,521,654千円



【特定健診の様子】

国民健康保険特別会計においては、病気やけがに備えて、加入者の皆さんに納めていただく国民健康保険税や国・県からの補助金などを財源として、医療機関に対する町負担分の医療費支払や特定健診などの保健事業を実施しています。高齢化の進

財源内訳	
保険税	255,399千円
国県支出金	1,138,782千円
町の負担額	69,545千円
その他	57,928千円

行や医療技術の高度化などにより年々増加傾向にある医療費の削減を目的に、生活習慣病の重症化予防に重点を置いた特定保健指導に結び付けるため、特定健診の受診勧奨を積極的に行うとともに、令和2年度に引続き個別医療機関における特定健康診査事業を実施しました。平成30年度からの「国保財政運営の都道府県化」に伴い保険者となっている熊本県に対し、国保事業費納付金として371,538,487円を納付しました。また、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、世帯主の収入の減少が見込まれるなど一定の要件に該当する世帯に対し、国民健康保険税の減免を実施しました。

◆介護保険特別会計（担当：福祉課）

1,557,595千円



【地域の介護予防教室「いきいき100歳体操」の様子】

介護保険は、高齢化が進む中、誰もが直面し得る介護の問題を社会全体で支えていく社会保障制度です。40～64歳の医療保険加入者と65歳以上の方からの保険料および公費を財源として、要介護・要支援認定者が利用する介護（予防）サービスなどに要した費用について、7～

財源内訳	
保険料	260,529千円
国県支出金	627,345千円
町の負担額	248,695千円
その他	421,026千円

9割を給付するものです。高齢者が、できる限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、関係機関と連携し、介護予防をはじめ適切なサービスの提供を図るための各種施策を行いました。

◆後期高齢者医療特別会計（担当：住民生活課）

160,781千円



【制度説明用パンフレット】

後期高齢者医療制度は、長年、社会に貢献してこられた75歳以上（一定の障がいがあると認定された65歳以上の方を含む）の加入者の皆さまが病気やけがなどで医療を受けるための制度で、熊本県後期高齢者医療広域連合がその運営にあたっています。町では、広域連合と連携しながら、各種届出の受付や被保険者証の引き渡し、保険料

財源内訳	
保険料	101,679千円
町の負担額	14,395千円
その他	44,707千円

の徴収などを行い、加入者の皆さまが納付された保険料については、町の負担分と合わせて後期高齢者医療特別会計から納付金として支出しています。令和3年度の納付金は、155,686,542円（前年度と比較して4,009,220円増）となりました。また、加入者の皆さまの健康維持・増進を目的とした医科および歯科口腔健康診査事業を継続実施しました。

●教育・文化の向上

学校教育

家庭・地域・学校の連携による教育体制の充実や教育環境の整備により、「生きる力」「豊かな心」を持つ児童生徒を育成します。県立甲佐高等学校の存続に向けた入学者の確保につながる学校の魅力づくりのための施策を促進します。

◆外国語指導助手（ALT）配置事業

4,845千円



【ALTによる授業支援のようす】

（担当：学校教育課）

学習指導要領の改正により、令和2年度から小学校5年生からの英語の教科化が始まりました。小学校高学年だけでなく、小学校低中学年にも外国語指導助手（ALT）の配置を行い、小学校外国語活動の先行実施を進め、語学力向上および国際化時代に対応できる児童生徒の育成を行っています。

財源内訳	
町の負担額	4,845千円

◆GIGAスクール構想対応事業

29,618千円



【教師のタブレット活用研修のようす】

(担当：学校教育課)

情報教育・ICT教育の充実のため、全学校にICT機器（タブレットや電子黒板等）を整備し、児童生徒の学力およびICT活用スキル向上に取り組みました。令和2年度末に文部科学省の「GIGAスクール構想の実現」に向けた取り組みとして、児童生徒に1人1台の端末を整備し、活用しています。

財源内訳	
国県支出金	513千円
町の負担額	18,645千円
その他	10,460千円

◆小学校トイレ整備事業 (担当：学校教育課)

56,953千円



【完成した白旗小学校の屋外トイレ】

現在一部の学校の外部便所は水洗化になっておらず老朽化もしているため、改築し、水洗化およびバリアフリー化の整備を進めています。令和3年度は、白旗小学校の屋外トイレが完成し、加えて屋内トイレの洋式化・乾式化改修も完了しました。

財源内訳	
国県支出金	18,942千円
町の借入金	38,000千円
町の負担額	11千円

◆特別支援教育支援員配置事業

22,526千円



【教室での学習支援のようす】

(担当：学校教育課)

各小中学校に、計15名の特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の集団生活への適応指導および学習指導の補助を行いました。

財源内訳	
町の負担額	22,526千円

◆学校給食センター管理事業

45,710千円



【給食を調理している様子】

(担当：学校教育課)

町内の小中学校や松橋西支援学校上益城分教室に給食を提供するために給食センターの管理運営を行います。

財源内訳	
町の負担額	44,244千円
その他	1,466千円

◆甲佐高校の魅力ある学校づくり支援事業

8,170千円



【令和3年度に作成した「あゆみ学舎」のパフレット】

(担当：学校教育課)

本町唯一の高校である甲佐高校の魅力ある学校づくりを支援し、入学者数の確保や町の活性化につながる取り組みを行っています。甲佐高校内に公営塾「あゆみ学舎」を開設しており、スタッフ2名が、甲佐高校の生徒たちの学習や社会活動をサポートしました。

財源内訳
町の負担額 8,170千円

◆【震災関連】 甲佐町熊本地震復興支援講演会事業

992千円



【瀬古利彦氏による講演会のようす】

(担当：学校教育課)

令和2年度に甲佐高校創立100周年記念式典と併せて実施予定であった、熊本地震復興支援講演会および陸上教室が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために延期になっていたため、令和3年度に実施しました。

財源内訳
町の負担額 496千円
その他 496千円

社会教育

生涯学習センター、公民館、学校施設、図書室などを有効活用した生涯学習活動の充実により、「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」学習できる支援体制づくりを進めます。

◆放課後子ども教室 (担当：社会教育課)

224千円



【放課後子ども教室での稲刈りの様子】

乙女高齢者福祉センター「まつやま」を活動拠点として、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供しました。

財源内訳
国県支出金 191千円
町の負担額 33千円

◆地域学校協働活動推進員配置事業 243千円



【学習支援活動(田植え)の様子】

(担当：社会教育課)

学校・家庭・地域が連携して、授業等における学習補助や教員の補助など、学校の要望に応じた支援を行い、地域の教育力の向上と学校支援活動の充実に取り組みました。

財源内訳	
国県支出金	94千円
町の負担額	149千円

◆地域未来塾 (担当：社会教育課) 665千円



【地域未来塾開塾式の様子】

中学生へ学習機会を提供し、地域の中学生の学力および地域の教育力の向上を図ることを目的にコーディネーター(学校・地域等・学習支援員の調整役)や学習支援員を配置しました。

財源内訳	
国県支出金	465千円
町の負担額	200千円

◆成人式 DVD 作成事業 198千円



【記念品の成人式 DVD】

(担当：社会教育課)

新型コロナ対策のために入場制限した式典の様子を録画撮影・編集、記念品としてDVDを配布し、郷土愛の醸成を図りました。

財源内訳	
国県支出金	197千円
町の負担額	1千円

◆公民館主催事業 (担当：社会教育課) 57千円



【主催講座・ステップアップ講座の様子】

町民の学習意欲の向上や生涯学習の推進のため、5講座(町民大学、郷土の歴史を訪ねて、ステップアップ講座、子ども講座、出前講座)を実施していますが、コロナ禍のため令和3年度はステップアップ講座、子ども講座のみ開催しました。また、各地域の公民館などで出前講座を31回開催し、360人が受講しました。

財源内訳	
町の負担額	57千円

◆生涯学習センターホール客席照明改修事業	5,572千円	
	<p>(担当：社会教育課)</p> <p>生涯学習センターホールの客席照明を、照度を上げた照明に改修することで、コロナ禍での密集密接を避け、ホールを会議などで安心安全に使用できるようにしました。</p>	<p>財源内訳 国県支出金 5,572千円</p>
【改修を行ったホールの客席照明】		
◆生涯学習センター備品整備事業	2,029千円	
	<p>(担当：社会教育課)</p> <p>生涯学習センター各室の机を増やし、コロナ禍での密集密接を避け、生涯学習センターを安心安全に会議などが実施できるようにしました。</p>	<p>財源内訳 国県支出金 2,029千円</p>
【感染症対策で購入した机】		
生涯学習センター自主文化事業	247千円	
	<p>(担当：社会教育課)</p> <p>子どもの豊かな心を育むとともに、地域の教育や文化の振興につながることを目的として実施しており、10月のオータムコンサートは63名、12月のクリスマスコンサートは64名が参加しました。</p>	<p>財源内訳 町の負担額 247千円</p>
【オータムコンサート「津軽三味線」の公演風景】		
◆図書室管理運営事業	4,659千円	
	<p>(担当：社会教育課)</p> <p>町民それぞれが適切な学習の機会に、自主的・自発的に情報収集や資料を自由に活用できる「学びの場」、また「癒しの空間」としての機能を兼ね備えた施設として、図書の貸し出しやインターネット閲覧ができる環境を整備しています。令和3年度の蔵書数は32,280冊（一般書24,509冊、児童図書7,771冊）で、図書室年間利用者は4,604人（一般3,766人、児童838人）でした。</p>	<p>財源内訳 町の負担額 4,659千円</p>

◆図書館パワーアップ事業

2,676千円



【新たに購入した甲佐町
図書室の図書】

(担当：社会教育課)

新たに図書を購入して貸出図書を増やすことで、在宅で過ごす時間を少しでも有意義なものにし、外出抑制につなげるとともに、図書室の網戸を新設して換気効率を上げるなど、感染症拡大防止のための環境を整備しました。

財源内訳
国県支出金

2,676千円

◆宮内地区社会教育センター事業

1,878千円



【宮内社会教育センター
の外観(玄関)】

(担当：社会教育課)

宮内地区社会教育センターを地域コミュニティの場として安全で安心して利用できるよう、管理を委託しました。また、上揚地区に新たに地域住民の集いの場や災害時に避難所として活用できる宮内防災センターを設置し、管理運営を行いました。

財源内訳
使用料
町の負担額

4千円

1,874千円

芸術・文化

これまで培われてきた歴史や文化の継承とともに、将来の文化発展に寄与する芸術・文化活動や「陣ノ内城跡」をはじめ文化財の保護・保存・活用などを推進します。

◆陣ノ内城跡国指定化事業

2,587千円



【陣ノ内城跡の堀の様子】

(担当：社会教育課)

陣ノ内城跡は令和3年10月11日に国史跡に正式に指定されました。陣ノ内城跡は、①「肥後国における中世城館のなかでも突出した規模を持ち、堀や土塁の保存状態が良好であること」②「緑川が平野部へ注ぎ込む陣ノ内城跡の所在する場所

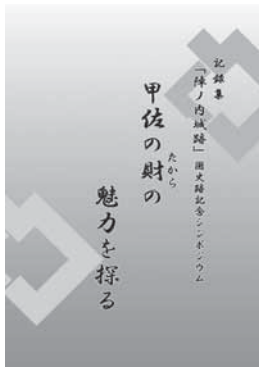
財源内訳
町の負担額

2,587千円

は、水陸交通の要衝のため、長期間にわたって継続的に利用されてきたこと」③「阿蘇氏から豊臣系大名による肥後国支配へと転換する時期の政治的、社会的状況を考える上で重要であること」が評価されました。

◆陣ノ内城跡国指定記念事業

2,124千円



【記録集「陣ノ内城跡」
国史跡記念シンポジウム】

(担当：社会教育課)

コロナ禍による外出自粛等によって屋外活動を制限された町内外の方々が、個々それぞれの時期・時間に国指定史跡「陣ノ内城跡」を来訪できるように、国史跡記念シンポジウムの開催やそのライブ配信や録画配信、シンポジウム記録集やPR動画、のぼり旗の作成などを通じて町内外へアピールしました。PR動画などを町公式ウェブサイトにて公開中です。

財源内訳
国県支出金

2,124千円

◆麻生原キンモクセイ保存事業

763千円



【キンモクセイの開花の様子】

(担当：社会教育課)

国指定天然記念物である麻生原のキンモクセイは、近年になり樹勢が衰え始め、枯枝が目立ち、根元にキノコが繁殖する状況でした。令和3年度も熊本県文化財保護審議委員および樹木医の指導のもと、土壌改良などの樹勢回復に取り組み、11月の開花状況も良好でした。

財源内訳
町の負担額

763千円

◆甲佐ふるさとさがし令和版作成事業

110千円



【町内の文化財をまとめた
パンフレット】

(担当：社会教育課)

新型コロナウイルス感染症収束後に町内外の方々が、個々それぞれの時期・時間に甲佐町を来訪できるように、町内の文化財108か所をまとめた「甲佐ふるさとさがし 令和版」を作成し、町内外へアピールしました。このパンフレットは配布とともに町公式ウェブサイトにてデータ公開もしています。

財源内訳
国県支出金

110千円

スポーツ

地域に根ざした総合型地域スポーツクラブなどの充実と人材の育成、町内スポーツ施設の有効活用と広域的利用の推進などによる誰でも気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。また、熊本甲佐10マイル公認ロードレースへの地元選手の出場促進など、小中学生のスポーツに親しむ機会の拡大を図ります。

◆グリーンパル甲佐トイレ感染防止対策事業 4,281千円



【改修したグリーンパル甲佐トイレ】

(担当：社会教育課)
グリーンパル甲佐において、利用者の方が安全・安心に利用できるように、感染防止対策としてトイレの改修工事を行いました。

財源内訳
国県支出金 4,281千円

◆グリーンパル甲佐散水施設改修事業 1,796千円



【散水設備の改修を行ったグリーンパル甲佐】

(担当：社会教育課)
グリーンパル甲佐の散水施設の改修を行うことで効果的な施設運営を促し、交流・関係人口の拡大を図りました。

財源内訳
国県支出金 1,796千円

◆甲佐町スポーツセンター換気対策事業 844千円



【換気設備を設置した甲佐町スポーツセンター】

(担当：社会教育課)
甲佐町スポーツセンターにおいて、感染症対策のため換気設備の導入および設置を行いました。

財源内訳
国県支出金 844千円

◆熊本甲佐総合運動公園感染防止対策事業

746千円



【感染防止策として
購入したフェンス】

(担当：社会教育課)

スポーツ施設において、利用者の方が安全・安心に利用できるように、感染防止対策として備品の購入を行いました。

財源内訳
国県支出金

746千円

◆熊本甲佐総合運動公園整備用機材導入事業

5,769千円



【購入したラジコン式の草刈機】

(担当：社会教育課)

総合運動公園の施設整備に係る機材等の充実を図ることで、施設維持管理における利便性が向上するとともに、運動公園全体の景観をより良いものとし、コロナウイルス感染拡大防止策の影響により減少した利用者の回復を図ることを目的に整備機材の購入を行いました。

財源内訳
国県支出金

5,769千円

人権

行政、地域、企業、学校などにおける人権教育や啓発を推進し、全ての人々の人権が尊重される社会の実現を目指します。

◆人権週間事業 (担当：町民センター)

76千円



【人権週間における
人権作品展示の様子】

毎年、12月4日から10日までを人権週間とし、その期間中、小・中・高校生の人権作品展示、企業啓発、街頭啓発、広報巡回活動を実施します。また、期間中に町民集会を開催しています。

財源内訳
国県支出金

76千円

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、人権作品展示および、企業啓発、広報巡回活動のみ実施しました。

◆もちつき大会（担当：町民センター）

4千円



【子どもたちが協力してもちをついている様子
（写真は令和元年度撮影）】

児童館主催の交流事業として、今では見る・体験することの少ない石臼と杵を使ったもちつきを地元の高齢者の方と一緒に実施します。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、交流は実施せず、地域のお年寄りへ餅の配布のみ実施しました。

財源内訳
町の負担額

4千円

●協働による施策の推進

住民との協働

「住民主役」という視点のもと、住民、民間、行政が互いに協力し、自立した自治体として地域の実情に応じたまちづくりと「協働のまちづくり」を推進します。

◆議会会議録調製・公開事業

565千円



【令和3年度に調整した会議録】

（担当：議会事務局）

甲佐町議会の定例会および臨時会の会議録調製を行います。

会議録は、甲佐町公式ウェブサイトに掲載しています。

財源内訳
町の負担額

565千円

◆議会だより『清流』の発行

434千円



【令和3年度に発行した議会だより「清流」
（177号から180号）】

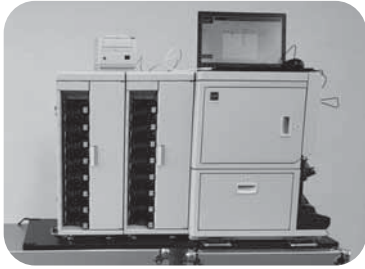
（担当：議会事務局）

議会広報編集特別委員会を設置し、議会定例会の内容などを町民の皆様にお伝えする議会だより『清流』の編集、発行を行います。年4回各戸配布し、甲佐町公式ウェブサイトに掲載しています。

財源内訳
町の負担額

434千円

◆選挙（担当：総務課）



【投票用紙読取分類機】

令和3年10月31日に第49回衆議院議員総選挙および第25回最高裁判所裁判官国民審査を行いました。

なお、開票作業の短縮化および新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開票事務従事者の人員削減を図るため、投票用紙読取分類機を導入しました。

また、各投票所において、新型コロナウイルス感染症対策を行いました。

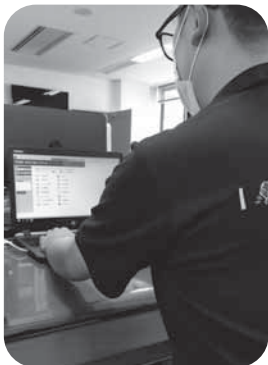
12,105千円

財源内訳
国県支出金 12,105千円

高度情報化

住民誰もが大きく変化する社会・経済・生活環境をより豊かに実感できる手段として、人・もの・情報が活発に交流できるよう情報ネットワークの充実を図るとともにデジタル化に対応したまちづくりを目指します。

◆総合電算システム事業



【総合電算システムを使用して業務を行う町職員】

（担当：企画課）

町行政において、住民情報や税情報などの事務を効率的に取り扱うために導入している「総合行政システム」を運用するための経費です。

44,233千円

財源内訳
町の負担額 44,233千円

◆オンライン会議環境整備事業



【オンライン会議環境を使用して会議をする町職員】

（担当：企画課）

他の行政機関などと対面を避けてオンライン会議をするための環境整備の経費です。

860千円

財源内訳
国県支出金 860千円

◆庁舎空調機能強化設備導入委託事業

956千円



【庁舎空調設備の一部】

(担当：総務課)

新型コロナウイルス感染症対策として、庁舎内の空調機能を強化する設備の導入を行いました。

財源内訳
国県支出金
町の負担額

955千円
1千円

◆分散勤務施設整備事業

2,776千円



【整備した分散勤務室】

(担当：総務課)

新型コロナウイルス感染症対策として、庁舎内に分散勤務室を整備する工事を行い、同室に配置する備品を購入しました。

財源内訳
国県支出金
町の負担額

2,775千円
1千円

【資料】町の財政状況について

町の財政状況について、いくつかの指標を用いて分析することで
解りやすく解説します。



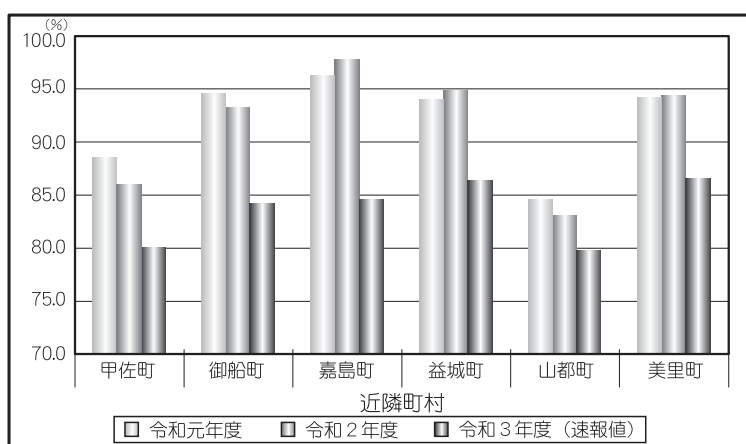
経常収支比率

経常収支比率とは、毎年必ず支払う経費（職員の給料や借金の返済額、扶助費など）が毎年必ず入ってくる収入（町の税金や普通交付税など）に占める割合のことです。この比率が低ければ低いほど財政運営の弾力性があるといえます。

令和3年度は、前年度よりも5.8ポイント改善しています。

(単位：%)

団体名	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (速報値)	
甲佐町	88.1	85.9	80.1	
近隣町村	御船町	94.7	93.0	84.0
	嘉島町	96.5	98.2	84.7
	益城町	93.7	94.9	86.6
	山都町	84.3	82.8	79.8
	美里町	94.4	94.5	86.8
県内町村平均	91.5	90.0	83.8	



※地方財政状況調査をもとに作成しています。

財政力指数

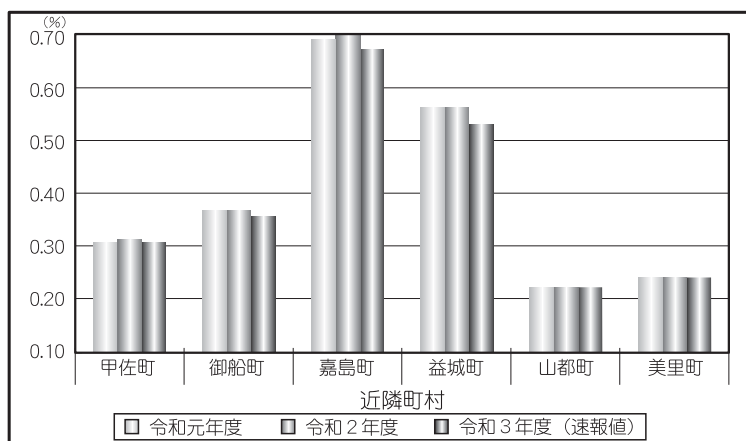
財政力指数とは、地方公共団体の財政力の強弱を示す指数で、この指数が1に近い（あるいは1を超える）ほど財政力に余裕があるとされています。

甲佐町は近年県内町村平均よりも下回る数値となっています。

財政力指数が1を超えるということは町税などの自主財源（町税や使用料など）で財源が賅える状態であるため、普通交付税が交付されない、いわゆる「不交付団体」となります。

(単位：%)

団体名	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (速報値)	
甲佐町	0.31	0.32	0.31	
近隣町村	御船町	0.37	0.37	0.35
	嘉島町	0.69	0.70	0.67
	益城町	0.56	0.56	0.53
	山都町	0.22	0.22	0.22
	美里町	0.24	0.24	0.24
県内町村平均	0.34	0.34	0.33	



※地方財政状況調査をもとに作成しています。

実質公債費比率

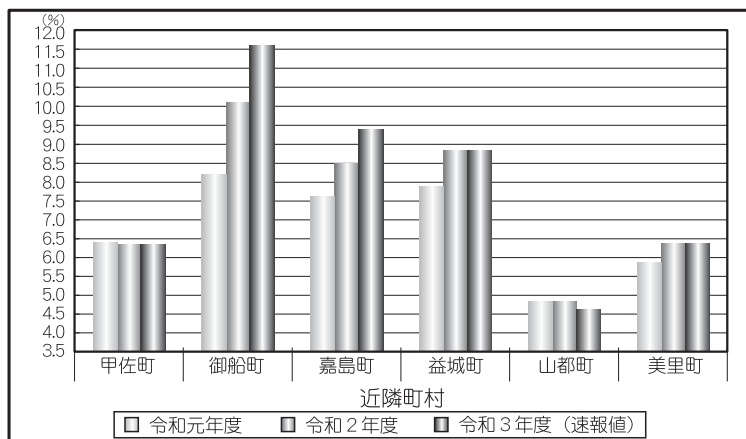
実質公債費比率とは、町税や普通交付税などの毎年必ず入ってくる標準的な収入のうち、借金の返済額（町の返済額だけではなく一部事務組合や公営企業会計などに町が支出した負担金のうち、借金の返済に充てられたものも含む）が、どのくらいの割合であるかを見る指標です。

甲佐町の場合には、過疎債などに代表される後年度の借金返済時に国がその一部を補てんする有利な地方債を中心に借入れているため、これまで比率は年々減少していました。なお、平成28年度以降は震災関連の災害復旧に係る地方債の借入などにより増加していましたが、令和2年度以降は普通交付税の増加により比率が改善しています。

(単位：%)

団体名	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (速報値)	
甲佐町	6.4	6.3	6.3	
近隣町村	御船町	8.2	10.1	11.6
	嘉島町	7.6	8.5	9.4
	益城町	7.9	8.8	8.8
	山都町	4.8	4.8	4.6
	美里町	5.9	6.4	6.4
県内町村平均	7.2	7.5	7.7	

※地方財政状況調査をもとに作成しています。



財政調整基金現在高

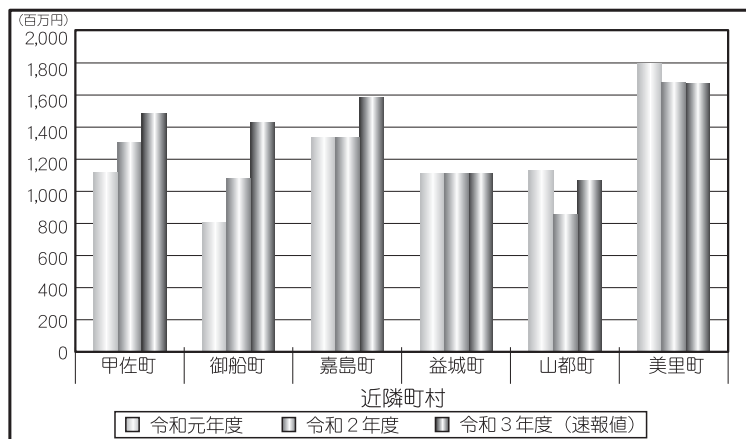
財政調整基金とは、一般家庭でいうところの「普通預金」になり、予期せぬ災害や大規模な建設事業などの実施時期に不足する財源を確保するという目的で積み立てているものです。

平成28年度以降、熊本地震及び豪雨災害に係る復旧事業に財源を要したことなどから、発災前と比べると基金残高は減少していましたが、財政健全化に努めたことなどにより、令和3年度は約15億円まで増加しました。今後も、復旧・復興に係る地方債（町の借金）の返済が本格化することから、通常経費を見直すなどにより財政調整基金を確保することが必要となっています。

(単位：百万円)

団体名	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (速報値)	
甲佐町	1,202	1,301	1,467	
近隣町村	御船町	801	1,087	1,418
	嘉島町	1,375	1,375	1,589
	益城町	1,119	1,120	1,121
	山都町	1,116	853	1,058
	美里町	1,799	1,679	1,672
県内町村平均	1,361	1,385	1,764	

※地方財政状況調査をもとに作成しています。



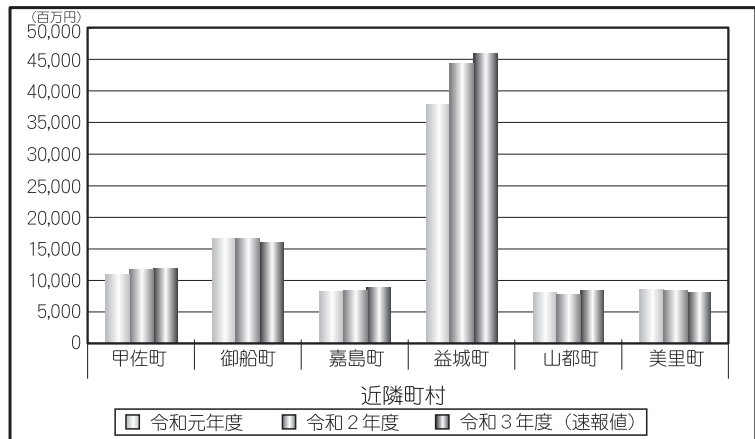
地方債現在高

地方債現在高とは、町が借入れた借金の現在高のことです。

平成29年度以降は、平成28年度に発生した熊本地震及び豪雨災に係る復旧・復興事業において多額の借入れを行ったため、地方債残高は毎年増加しています。令和3年度においても、前年度から引き続き、復興事業として熊本甲佐総合運動公園の整備等の借入れを行ったことなどから、約114億円まで増加しています。今後も、老朽化した公営住宅の建替事業や、熊本甲佐総合運動公園の整備などの復興事業に係る借り入れを行う必要があるため、地方債残高は増加する見込みです。

(単位：百万円)

団体名	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (速報値)
甲佐町	11,177	11,288	11,413
近隣町村	御船町	16,370	16,444
	嘉島町	7,931	8,003
	益城町	38,847	44,075
	山都町	8,266	8,104
	美里町	8,181	8,169
県内町村平均	8,423	8,876	9,082



※地方財政状況調査をもとに作成しています。



発行所・甲佐町役場 発行人・甲佐町長 奥名克美 編集・総務課・財務係
〒861-4696 熊本県上益城郡甲佐町大字豊内 719 番地 4 TEL096-234-1140
URL:<http://www.town.kosa.kumamoto.jp/> E-mail:soumu02@kosa.kumamoto.jp
※ 本誌は再生紙を使用しています